

ESGに配慮した投資促進に向けた 環境情報開示プラットフォーム

「環境情報開示基盤整備事業」

参加金融機関等募集

募集期限

9/30 (水)
参加無料

(100機関程度を想定)

環境省では「平成27年度環境情報開示基盤整備事業」において試行的に構築するプラットフォーム『環境情報開示システム』の閲覧機能・比較分析機能、及び対話を促進するためのコミュニケーションツール等を体験利用いただく金融機関等を募集します。

本事業の目的と意義

背景

機関投資家に求められる行動原則として日本版スチュワードシップ・コードが、企業側に求められる行動原則としてコーポレートガバナンス・コードが策定されるなど、企業評価におけるESG（環境・社会・ガバナンス）情報の重要性は高まっている。

現状

財務情報は、情報開示基盤が既に存在し、投資家等に円滑に企業の情報が届いているが、環境情報を含めた非財務情報は、情報開示基盤が未整備であるため、適時適切・比較可能な形で容易に入手することが困難という現状。



目的意義

本事業では、試行的に「環境情報開示システム」を構築し、以下の検証を行います。

- ① 企業による登録情報の投資判断への有用性
- ② 情報流通経路における、XBRLの利用可能性（比較可能性、品質劣化防止等）
- ③ 登録情報の比較ツールの有用性
- ④ 対話を促進するためのコミュニケーションツールの有効性

「環境情報開示システム」の整備により、**環境に配慮した経営を行う企業が正しく評価され、そのような企業に資金が流れる社会システムの構築**を目指します。

参加メリット

本情報開示基盤を体験利用いただくことにより、**ESG情報の活用方法を検討する絶好の機会**となります。

- 企業の環境に関わる**最新のガバナンス、戦略、機会、リスク等の情報**を閲覧できます。
- 本事業で提供する比較ツールにより、開示情報の**企業間比較、経年比較を容易に実施**できます。
- コミュニケーションツールなどを通じて、**企業との直接対話の機会**を得ることができます。
- **ESG情報活用に資する**各種情報を取得できます。

本事業の特徴

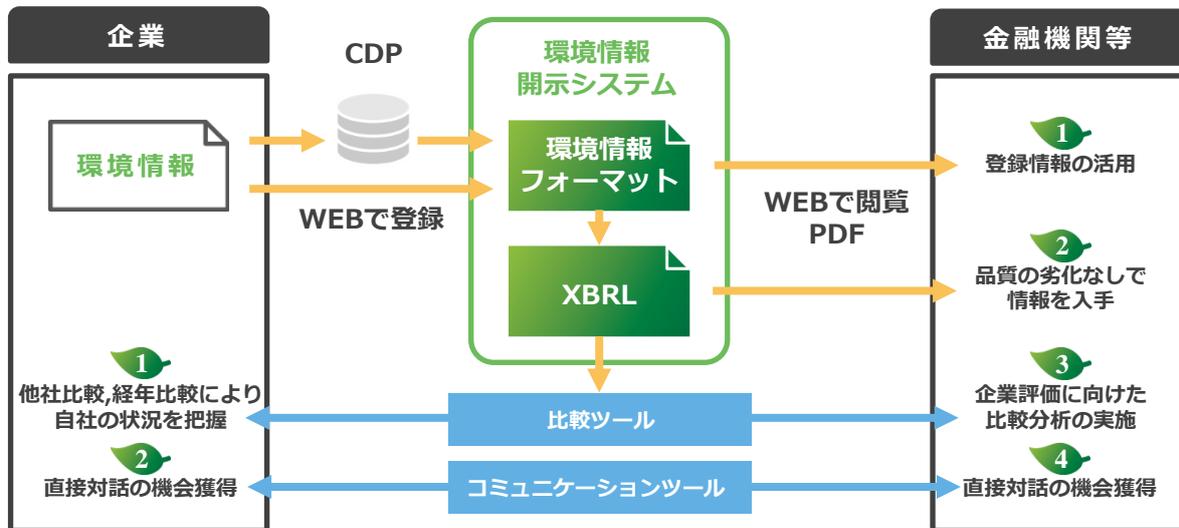
- CDP及びGRIとの連携によるフォーマット項目の一部共有化により、企業の入力作業の効率化、閲覧者による比較可能性を確保。（共有化された設問については、CDPへの回答が自動的に「環境情報開示システム」へ移行されます。）
- XBRL（※）の非財務情報への適用により、迅速な比較分析や情報加工を実現、情報品質劣化を回避。

※XMLベースのコンピューター言語で、金融庁のEDINETや東京証券取引所のTdnet、コーポレート・ガバナンス情報サービスなど、国内外の財務情報基盤で広く利用されています。

試行事業の内容や、問い合わせ先は、裏面をご覧ください。

試行事業の内容

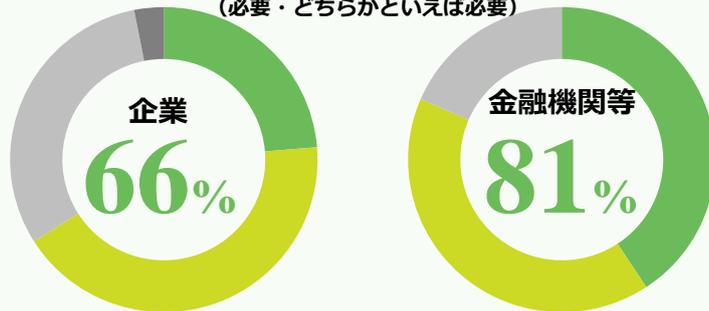
- 企業には本事業で整備する情報開示基盤（環境情報開示システム）への入力及びアンケートに、金融機関等にはシステムに入力された情報の閲覧と情報内容についてのコメント及びアンケートに協力いただきます。
- コメントは、コミュニケーションツールを通じて、企業にフィードバックされます。
- アンケート結果は、本事業の改善に活用する他、統計処理・匿名化した上で参加者にフィードバックいたします。



参加者の推移と事業への評価



情報開示基盤 本格運用の必要性 (必要・どちらかといえば必要)



本事業の参加者は年々増加しています。また、平成26年度事業へのアンケートでは、**参加企業の66%、参加金融機関等の81%が、環境情報開示基盤の本格運用が必要と回答**しています。

試行事業のスケジュール（予定）

実施内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
募集	■							
説明会			■					
企業による登録期間			■					
金融機関等による閲覧期間 (参加企業も閲覧できます)				■				
アンケート、ヒアリング						■		
事業成果報告会								★

ご参考

環境省ホームページ 報道発表 「平成27年度環境情報開示基盤整備事業」における情報閲覧金融機関等の募集について（お知らせ）

環境情報開示基盤整備事業

検索

お問い合わせ先

本施策について 環境省 総合環境政策局 環境経済課（担当：齋藤、大川）
事業内容・募集について 株式会社NTTデータ 第一公共事業本部 第一公共事業部（担当：森田、小川）

TEL：03-5521-8240
TEL：050-5545-6516
E-mail：env_report@am.nttdata.co.jp